

組合支援ウォッチ

黒崎の商店街にアンティークな車が大集合！

去る令和5年1月22日(日)に黒崎名店街協同組合及び黒崎一番街協同組合が「CLASSIC CAR STREET KUROSAKI」を開催し、両商店街のアーケード内(通称:カムズ通り)に32台もの国内外の希少な車が展示されました。

この事業は本会事業である「組合チャレンジ支援事業」を活用して行われました。



当日のカムズ通り



ずらりと並んだ名車

【商店街の紹介】

北九州市の副都心である黒崎に位置する黒崎名店街協同組合及び黒崎一番街協同組合はJR黒崎駅のペDESTリアンデッキに直結し、大きな通りを有する商店街です。平成29年9月5日に国家戦略特区(エリアマネジメント民間開放)に認定されて以降、カムズ通りでオープンカフェやマルシェ等の様々な催し物を開催しています。しかし、コロナ禍で来街者も減少していることから、商店街と来街者の交流の機会を強化し、商店街の活性化を図るため「CLASSIC CAR STREET KUROSAKI」の開催に至りました。

【当日の様子】

当日は、カムズ通り内に整然と展示され、まるでショールームの様でした。車種の一例としてメルセデス・ベンツ250S(年式1968年)、フォード・サンダーバード(年式1959年)、MG YTツアラー(年式1948年)、フォルクスワーゲン・タイプII(年式1965年)、いすゞ・117クーペ(年式1977年)、ニッサン・スカイラインGTS-R(年式1987年)、トヨタ・MR2 1.6G(年式1988年)等、懐かしの名車が展示され、中でも約6,000万円もの価値がある大変希少なフェラーリ・DINO246GT(年式1972年)も展示されました。

来街者の方は車の写真撮影はもちろん、車の前でポーズを取ったり、オーナーと車について談笑したり、エンジン音を聞いたりして懐かしの名車とふれあっていました。また、子ども向けにミニカーの即売会や協賛企業による子供免許証体験会も開催され、家族連れでも楽しめるイベントとなり、カムズ通りはとても賑やかな雰囲気につつまれました。

黒崎名店街協同組合及び黒崎一番街協同組合の藤戸哲谷理事長は「今後も話題性のある大きなイベントを開催して、商店街や黒崎の発展に貢献したい。」と話していました。



フェラーリDINO246GT 年式1972年



たくさんのミニカーが並び即売会